第２章　品川区および大井町駅周辺地区における
バリアフリーに関する状況把握

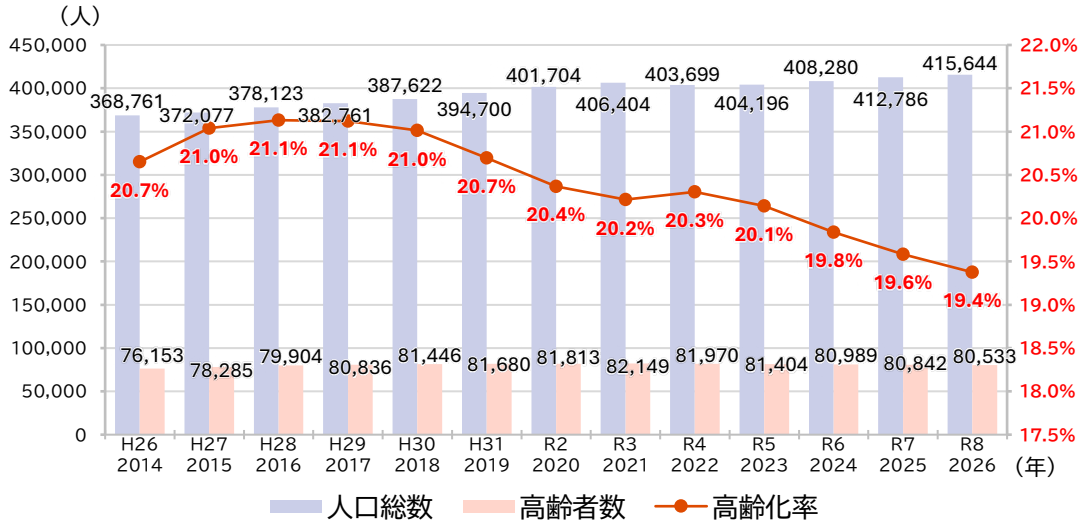
2-1　品川区の人口等

(1)総人口・高齢者数

平成26年以降、総人口はおおむね増加傾向にあり、令和8年1月現在で415,644人です。

このうち高齢者(65歳以上)は、令和3年をピークに減少傾向にあります。また高齢化率は、平成28・29年の21.1%をピークに減少し、令和8年1月現在で19.4%です。

図 2-1　品川区の総人口・高齢者数の推移



出典:「住民基本台帳」・登録人口　各年1月1日現在(品川区地域振興部地域活動課)

(2)将来人口の推計値

品川区総合実施計画 第2次計画期間(2025-2029)による品川区の将来人口の推計値※は、総人口は、令和33年まで増加を続け、同年に約46.7万人でピークを迎えた後に減少傾向に転じる見込みになるとされています。

年齢3区分別では、年少人口(0～14歳)と生産年齢人口(15～64歳)は、それぞれ令和28年、令和17年にピークを迎えた後に減少に転じる一方、老年人口(65歳以上)は、令和42年までの推計期間中一貫して増加し、令和42年にはその比率が約28.7%となり、区民の4人に1人以上が高齢者となるとされています。

図 2-2 品川区総合実施計画による将来人口の推計値



(注)四捨五入により数値の合計が総数と一致しないものがある。

出典:品川区総合実施計画 品川区総合戦略 第2次計画期間(2025-2029)

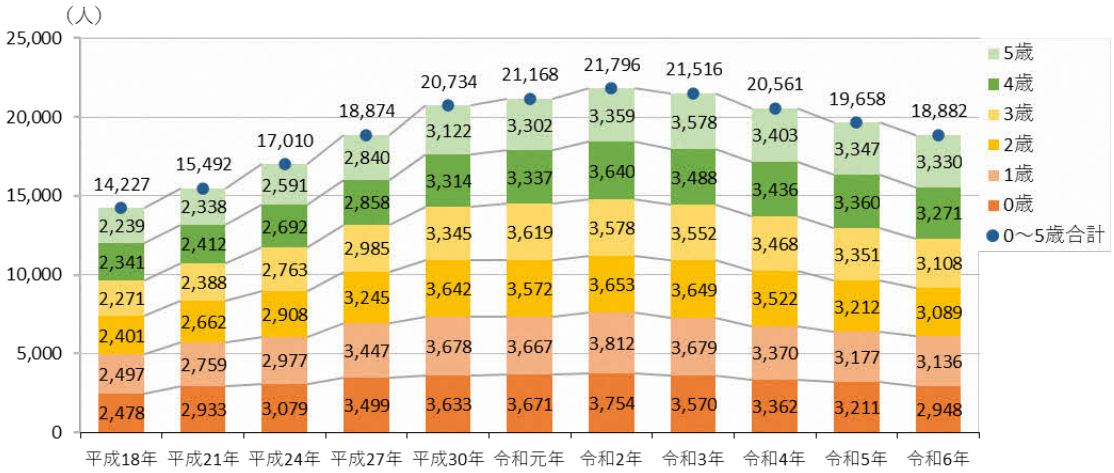
※ 品川区の将来人口の推計値:2024(令和 6)年は住民基本台帳(4 月 1 日)より作成、2025(令和 7)年以降は将来推計値である。また推計にあたっては、コロナ禍以降の人口動向や今後の住宅供給数、国・都の最新の推計結果などを踏まえている。

(3)就学前の子どもの人口推移

就学前人口は年々増加していましたが、令和2年をピークに減少に転じています。

しかしながら、令和7年以降の推計値では、緩やかに増加していくと予想されています。

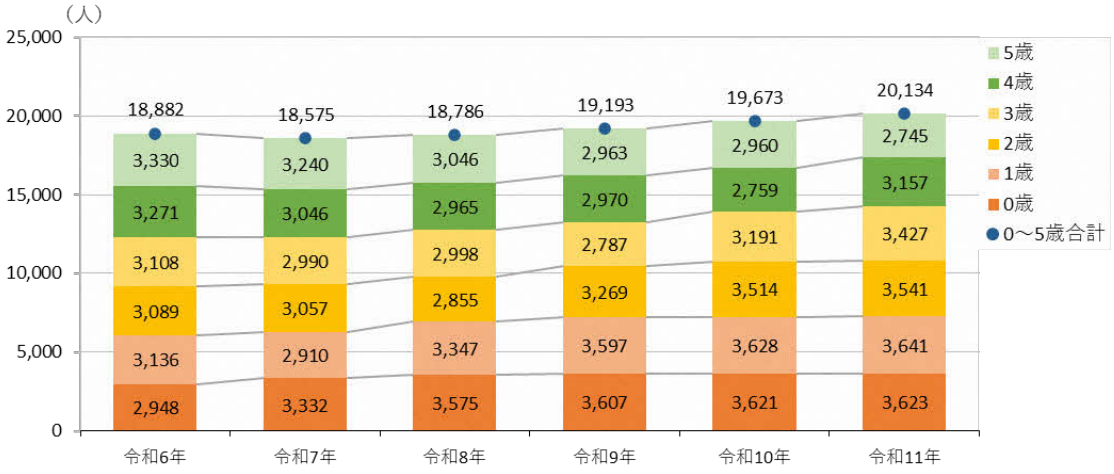
図 2-3 就学前人口の年齢別推移



出典:品川区こども計画(令和7年度～令和11年度)

品川区住民基本台帳(各年4月1日、平成27年から外国人を含む)

図 2-4 就学前人口の将来推計



出典:品川区こども計画(令和7年度～令和11年度)

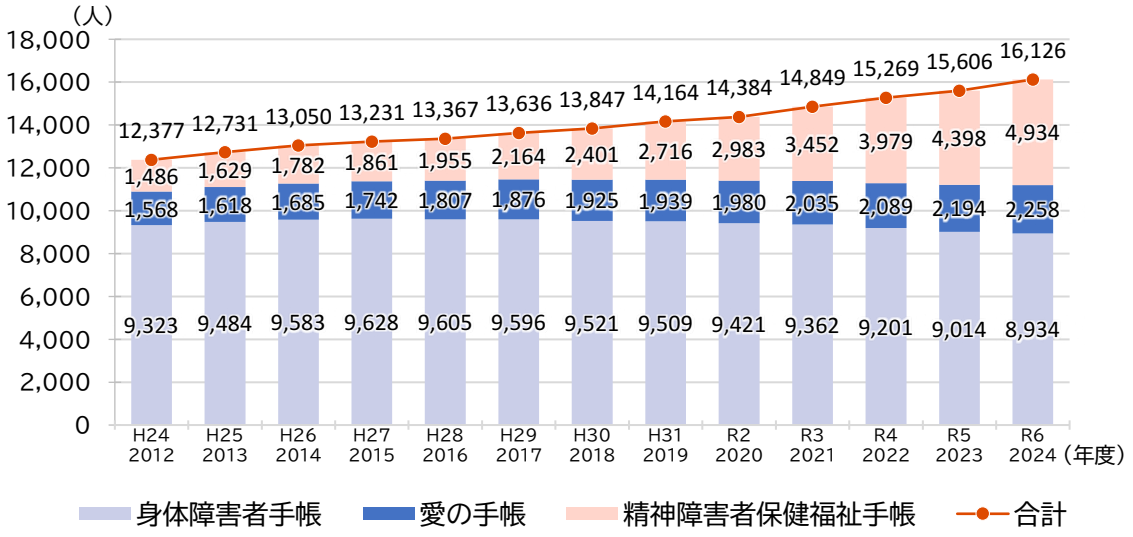
令和6年は品川区住民基本台帳4月1日、令和7年以降は将来推計値

(4)障害児者数

品川区の障害児者数(身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の総数)は、平成24年以降、増加傾向にあり、令和6年現在で16,126人です(総人口の3.9%)。

令和6年現在の構成をみると、身体障害者手帳が8,934人(55.4%)、愛の手帳2,258人(14.0%)、精神障害者保健福祉手帳4,934人(30.6%)となります。

図 2-5 品川区の障害児者数の推移



出典:年により異なる。以下のとおり。
身体障害者手帳・愛の手帳:各年度4月1日時点
精神障害者保健福祉手帳:各年度3月31日時点
H24～H26:第5期品川区障害福祉計画、第1期品川区障害福祉計画 平成30年4月
H27～H28:第6期品川区障害福祉計画、第2期品川区障害児福祉計画 令和3年7月
H29～R4:品川区障害者計画 第7期品川区障害福祉計画 第3期品川区障害児福祉計画 令和6年4月
R5～R6:令和6年度品川区障害福祉計画等実績について 令和7年7月1日(厚生委員会資料)

(5)区内の駅利用者数

品川区内には鉄道が14路線、延べ40駅・駅名数は26駅あり、令和5年度における1日あたり乗車人員の総数は1,168,210人／日です。

このうち、最も乗車人員が多いのは目黒駅の317,366人／日であり、大崎駅の187,942人／日、五反田駅の182,330人／日、大井町駅の174,780人／日が続きます。

複数の鉄道が乗り入れる鉄道駅は、目黒駅の4線が最も多く、五反田駅と大井町駅の3線が続きます。

表 2-1 1日あたり乗車人員(区内 26駅／令和 5 年度)

(人／日)

順位・駅名	総数	交通事業者別			
1. 目黒	317,366	JR	90,602	東急	125,835
		都営	50,755	東京メトロ	50,174
2. 大崎	187,942	JR	134,526	りんかい	53,416
3. 五反田	182,330	JR	107,639	東急	46,569
		都営	28,122		
4. 大井町	174,780	JR	84,189	東急	56,773
		りんかい	33,818		
5. 旗の台	63,972	東急	63,972		
6. 天王洲アイル	26,279	東京モノレール	11,384	りんかい	14,895
7. 武蔵小山	25,715	東急	25,715		
8. 中延	23,425	東急	10,110	都営	13,315
9. 西大井	17,688	JR	17,688		
10. 青物横丁	17,096	京急	17,096		
11. 品川シーサイド	16,922	りんかい	16,922		
12. 西小山	15,962	東急	15,962		
13. 不動前	14,638	東急	14,638		
14. 戸越	10,264	都営	10,264		
15. 戸越銀座	9,303	東急	9,303		
16. 立会川	8,545	京急	8,545		
17. 荏原町	7,408	東急	7,408		
18. 新馬場	7,402	京急	7,402		
19. 大森海岸	6,493	京急	6,493		
20. 戸越公園	6,412	東急	6,412		
21. 荏原中延	6,201	東急	6,201		
22. 大井競馬場前	5,153	東京モノレール	5,153		
23. 鮫洲	4,809	京急	4,809		
24. 下神明	4,410	東急	4,410		
25. 北品川	4,282	京急	4,282		
26. 大崎広小路	3,413	東急	3,413		
合計	1,168,210				

出典:品川区の統計

は重点整備地区内の駅

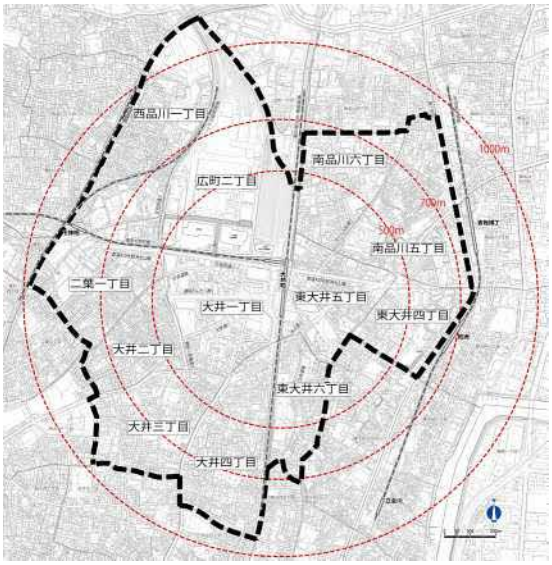
2-2 大井町駅周辺地区の人口等

(1)大井町駅周辺地区の人口・高齢者数

大井町駅周辺地区の人口は平成28年以降、増加傾向にあり、令和8年1月現在で44,366人と品川区の10.7%を占めます。参考までに面積ベースでは8.7%を占めます。

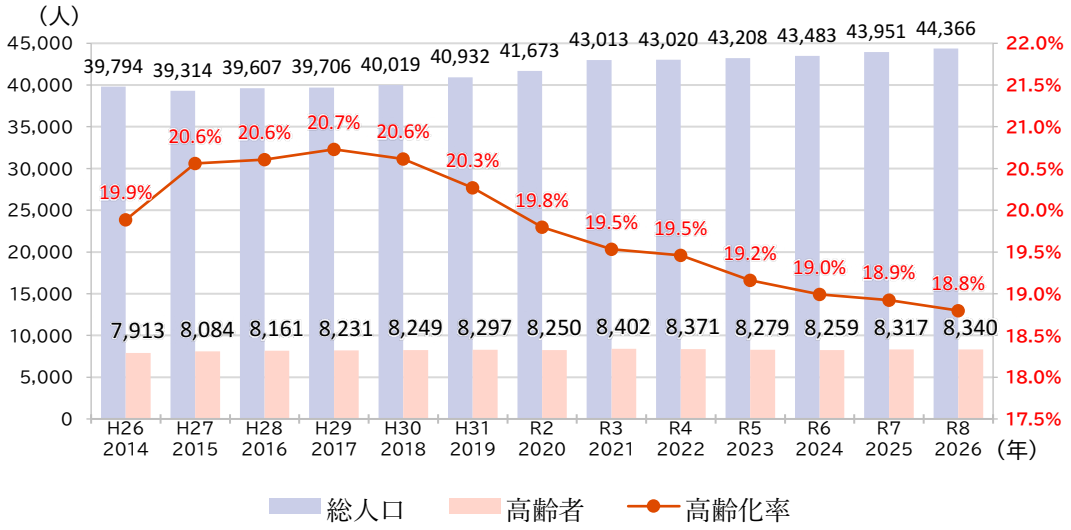
このうち高齢者数(65歳以上)は、令和3年にピークを迎えたあと減少しましたが、令和7年には増加に転じています。また高齢化率は、平成29年の20.7%をピークに減少し、令和8年1月現在で18.8%です。

図 2-6 統計数値を把握するための大井町駅周辺地区※



この地図は、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号:7 都市基交測第 64 号)

図 2-7 大井町駅周辺地区(大井町駅圏)の総人口・高齢者数の推移



出典:「住民基本台帳」・登録人口 各年 1 月 1 日現在(品川区地域振興部地域活動課)

※ 統計数値を把握するための大井町駅周辺地区:ここに示す大井町駅周辺は、同駅から半径700mに係る町丁目の範囲を基本とする。半径 700mは、品川区 大井町駅周辺地区バリアフリー計画(平成 27 年 3 月/品川区)における重点整備地区設定の際の検討範囲に基づく。

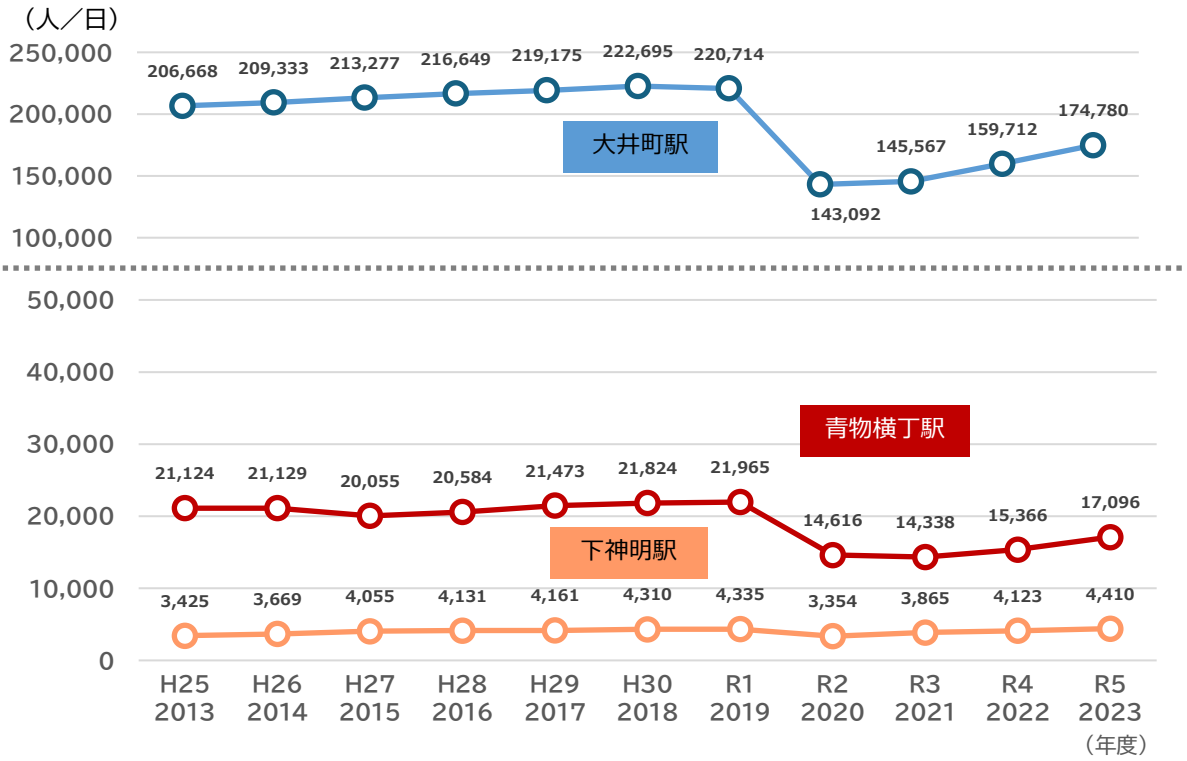
（2）大井町駅周辺地区における駅利用者数

大井町駅周辺地区にある大井町駅、下神明駅、青物横丁駅の1日あたり乗車人員を示します。

令和5年度現在で、大井町駅が約17.5万人、青物横丁駅が約1.7万人、下神明駅が約0.4万人です。

いずれの駅も令和元年度まではおおむね増加傾向にありましたが、令和2年度に3割前後落ち込みました。その後は回復傾向にあります。

図 2-8　3 駅の1日あたり乗車人員



出典：品川区の統計

(3)区内居住者のゾーン別トリップ数※

区内居住者のゾーン別トリップ数は、全年齢、高齢者ともに大井町駅を含むゾーン23が最も多くなっています。

図 2-9　区内居住者のゾーン別発生集中量(全年齢[15～79 歳]･1 日)

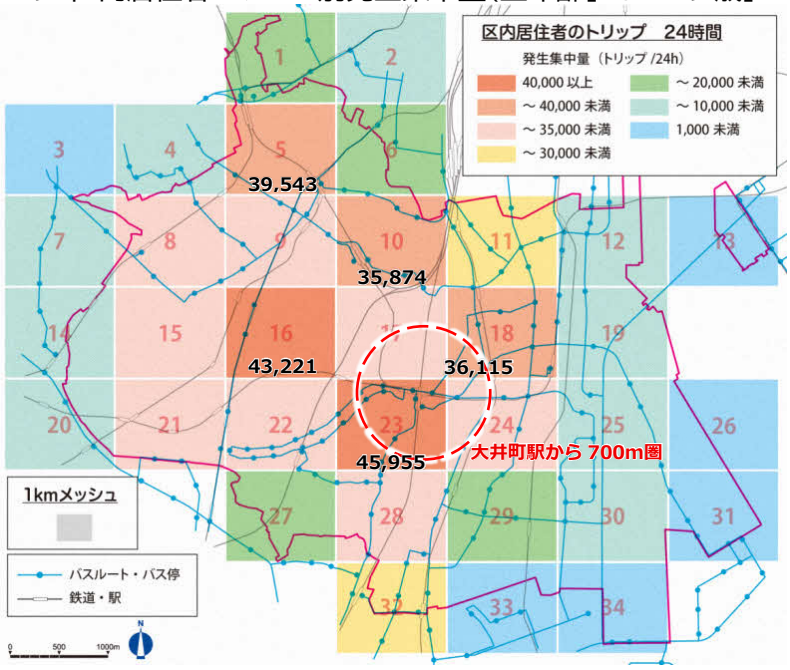
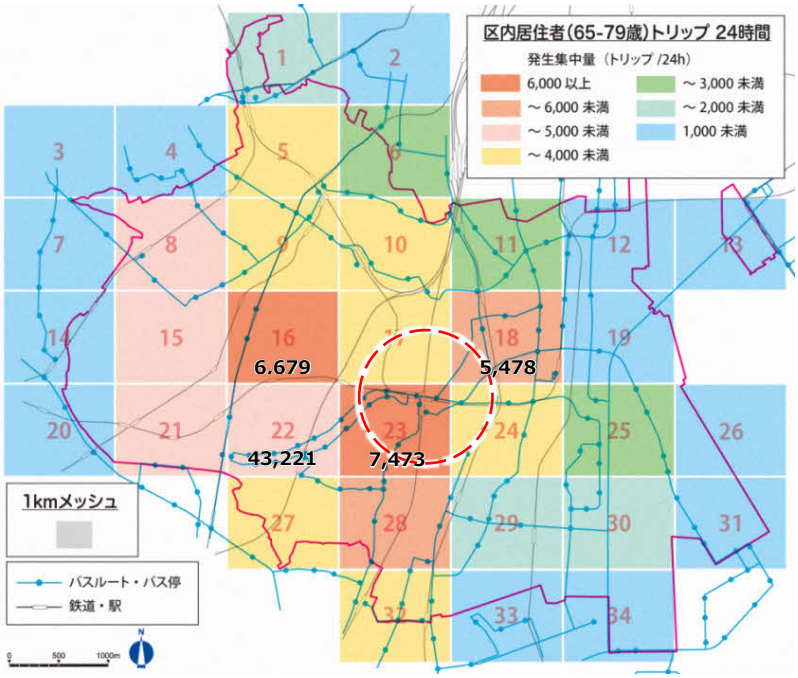


図 2-10　区内居住者のゾーン別発生集中量(高齢者[65～79歳]･1 日)



出典:品川区地域公共交通基本方針(令和2年10月／品川区)(一部加工)

※ 区内居住者のゾーン別トリップ数:携帯電話の位置情報による移動特性を示すものであり、トリップとは、人がある目的(例えば出勤や買い物)をもってある地点からある地点まで移動することの総称

2-3 大井町駅周辺地区の現状・区民の意向

(1)実態把握のための取り組み

大井町駅周辺におけるバリアフリーの実態や課題、区民の意識・要望を把握するため、当事者等ヒアリング、区民アンケート調査、まち歩き点検、心のバリアフリーワークショップ、住民説明会を以下のとおり実施しました。

1)当事者等ヒアリング

表 2-2 当事者等ヒアリング概要

対象/実施日	品川区障害者七団体協議会	令和 7 年 6 月 6 日
	一本橋児童センター利用者(子育て世帯 30 名)	令和 7 年 6 月 13 日
	・関ケ原シルバーセンター利用者 ・南品川シルバーセンター利用者 (高齢者約 10 名)	令和 7 年 6 月 20 日 令和 7 年 6 月 27 日
内容	大井町駅周辺の施設・道路・駅・バス・タクシーについて、 心のバリアフリー・情報バリアフリーについて	

2)区民アンケート調査

表 2-3 区民アンケート調査概要

期間	令和 7 年 9 月 11～23 日
対象	満 15 歳以上の区内在住者 3,000 人(無作為抽出)
配布・ 回収状況	・配布数:3,000 票(有効配布数:2,991 票) ・回収数:719 票 ・有効配布数に対する回収率:24.0%
項目	属性、大井町駅周辺の施設・道路・駅・バス・タクシーについて、 心のバリアフリー・情報バリアフリーについて

3)まち歩き点検

表 2-4 まち歩き点検概要

実施日	令和 7 年 10 月 8 日	
内容	利用者・当事者の視点からまちを歩いて点検し、結果を整理、意見交換を実施しました。	
主な 点検箇所	【大井町駅周辺コース】 ・大井町駅西口広場 ・大井町駅(JR 線、東急大井町線、りんかい線) ・上記経路	【青物横丁駅周辺コース】 ・品川第二地域センター、区民集会所 ・青物横丁駅～交差点 ・大井町駅東口広場 ・上記経路
参加者数	54 名	
参加者	高齢者クラブ、障害者団体、子育て世帯、町会・自治会、 特別支援学校 PTA、鉄道事業者、道路管理者、学識経験者、区職員	

4)心のバリアフリーワークショップ

表 2-5　心のバリアフリーワークショップ概要

実施日	令和7年11月6日
内容	鉄道・バス事業者が心のバリアフリーに資する取り組みを紹介し、参加者は質問や相互での意見交換を行い、今後も継続してほしいこと、取り組んでほしいこと、実施に向けて必要なことをまとめました。
参加者数	23名
参加者等	障害者団体、子育て世帯、町会・自治会、NPO法人まちづくり大井、品川区商店街連合会、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会 (話題提供者)東日本旅客鉄道株式会社、東京臨海高速鉄道株式会社、京浜急行電鉄株式会社、東急バス株式会社、京浜急行バス株式会社

5)住民説明会

表 2-6　住民説明会概要

場所/実施日	・令和8年2月 3日　品川区役所 第二庁舎 3階ロビー ・令和8年2月10日　品川第二区民集会所 第二集会室 ・令和8年2月15日　イトーヨーカドー大井町店 地下1階
内容	・改定の目的・背景・スケジュール、これまでの取り組み ・品川区・大井町駅周辺地区の状況 ・基本目標と基本方針 ・整備方針、重点整備地区、生活関連施設・経路
参加者数	・品川区役所　48名 ・品川第二区民集会所　8名 ・イトーヨーカドー大井町店　49名

図 2-11　実態把握の取り組みの様子

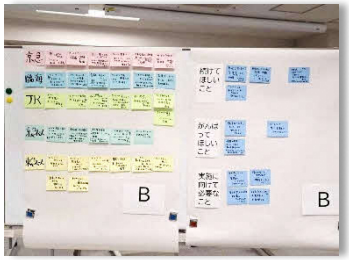

まち歩き点検①


まち歩き点検②



まち歩き点検③


心のバリアフリーワークショップ①



心のバリアフリーワークショップ②

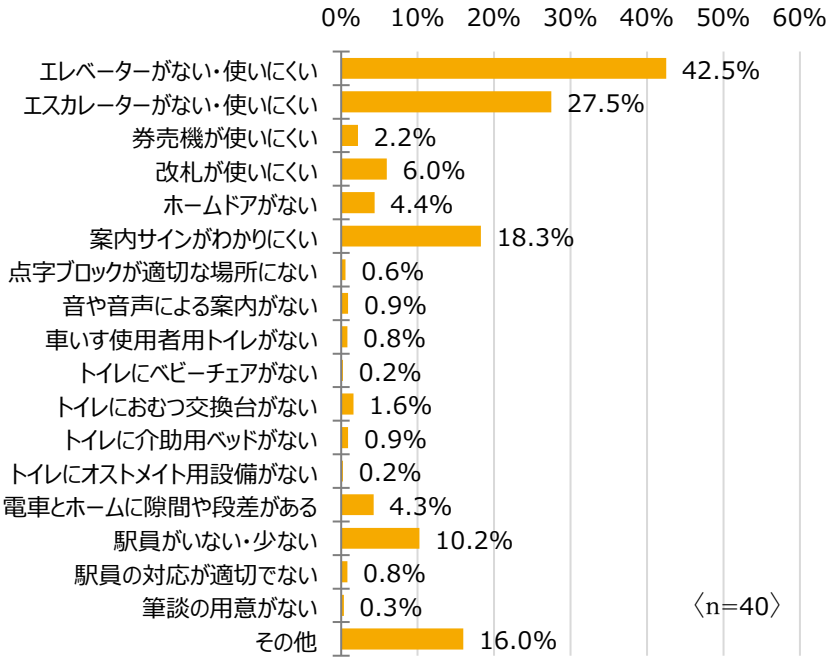

住民説明会

（2）実態把握に基づく区民意向等

1）公共交通

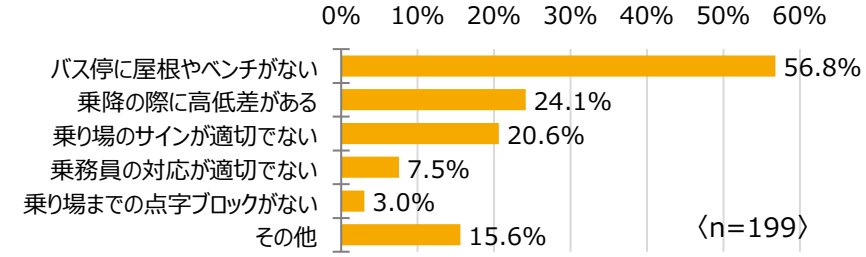
- 券売機は、車いすで近づきやすくしてほしい。また、音声案内機能や呼び出しボタンをつけてほしい。
- 窓口に筆談可能と表示し、コミュニケーションボードを準備してほしい。
- 電光掲示板に表示される運行情報を読みやすくしてほしい。また、改札前の電光掲示板を増やしてほしい。
- 駅構内では、アナウンスだけでなく、アナウンス内容の表示もしてほしい。
- 幅広の改札を増やしてほしい。
- トイレの場所の案内をわかりやすくしてほしい。トイレまでの点字ブロックの連続性を確保してほしい。
- トイレの中では、個室の場所をわかりやすくしてほしい。音声ガイドの声を大きくしてほしい。容易に水が流せるようにセンサーの場所をわかりやすくしてほしい。大型ベッドを設置してほしい。介助者との間を仕切るカーテンを設置してほしい。
- エレベーターの位置をわかりやすくしてほしい。エレベーターの台数を増やしてほしい。既存のエレベーターのサイズを大きくしてほしい。
- 大井町駅における駅間の乗換は垂直移動も含め改札が遠く、乗換動線が複雑なため、乗換案内をわかりやすくしてほしい。
- バス乗り場は、乗り場までの案内を分かりやすくしてほしい。段差を少なくしてほしい。乗り場空間が狭いため広くしてほしい。屋根とベンチを設置してほしい。
- タクシー乗り場は、乗降しやすくなるよう段差をなくしてほしい。
- 区民アンケートより、大井町駅周辺の駅（大井町駅、下神明駅、青物横丁駅）で気になる点は「エレベーターがない・使いにくい」、「エスカレーターがない・使いにくい」、「案内サインがわかりにくい」の割合が高い。
- 区民アンケートより、路線バスで気になる点は「バス停に屋根やベンチがない」、「乗降の際に高低差がある」、「乗り場のサインが適切でない」の割合が高い。
- 区民アンケートより、タクシーで気になる点は「タクシー乗り場に屋根やベンチがない」、「タクシー乗り場のサインが適切でない」、「乗降の際に高低差がある」の割合が高い。

図 2-12　大井町駅周辺の駅で気になる点



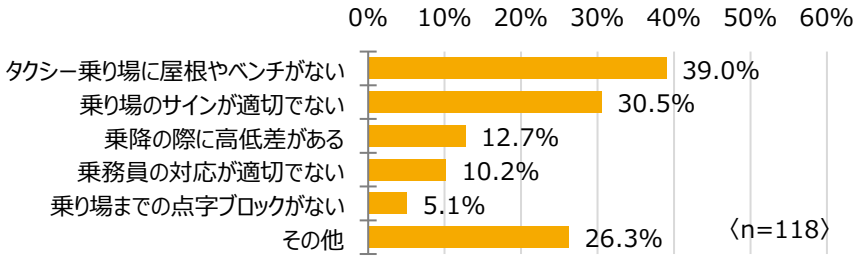
出典：大井町駅周辺地区のバリアフリーに関する区民アンケート調査

図 2-13　大井町駅周辺の路線バスで気になる点



出典：大井町駅周辺地区のバリアフリーに関する区民アンケート調査

図 2-14　大井町駅周辺のタクシーで気になる点

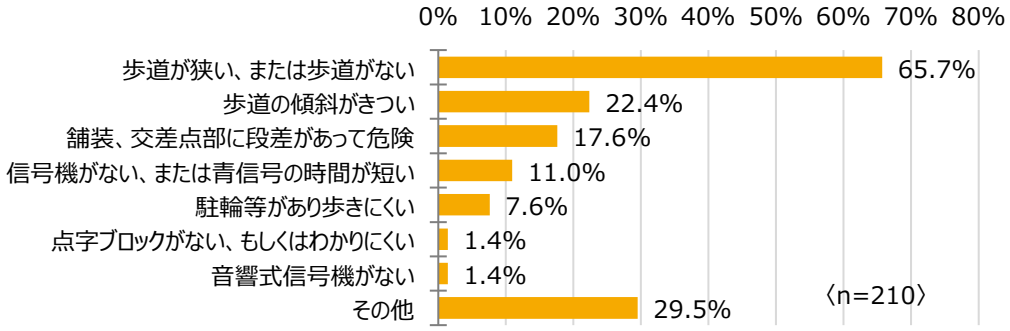


出典：大井町駅周辺地区のバリアフリーに関する区民アンケート調査

2)道路・交通安全

- 大井町駅西口広場における歩行者動線は、タイルに凹凸があり、点字ブロックの色が統一されていないため、改善してほしい。
- 大井町駅東口広場とデッキ間を車いす等で移動しようとしたとき、スロープで補助26号線まで遠回りするか、使用時間が限られているきゅりあんのエレベーター※を利用するしかない。昇降しやすくしてほしい。
- 青物横丁駅前交差点の第一京浜国道には、横断歩道がなく歩道橋にエレベーターがないため、階段を上ることのできない人が横断するためには、南品川五丁目交差点の横断歩道まで300mほど遠回りすることになる。平面横断できる横断歩道の設置など交差点を全方向に横断できるようにバリアフリー化してほしい。
- 区民アンケートより、道路で気になる点は、「歩道が狭いまたは歩道がない」、「歩道の傾斜がきつい」、「舗装、交差点部に段差があって危険」の割合が高い。
  また気になる点の多い場所は、「補助26号線」、「大井町駅西口広場周辺」、「大井町駅東口広場周辺」の割合が高い。

図 2-15　大井町駅周辺の道路で気になる点



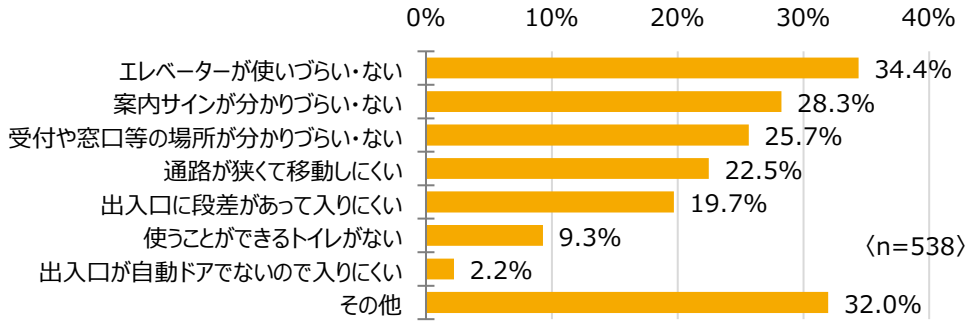
出典:大井町駅周辺地区のバリアフリーに関する区民アンケート調査

※ きゅりあんのエレベーター利用可能時間:7:00 から 23:00 まで(令和8年8月1日時点)

3）建築物

- 施設への音声案内があるとよい。
- 受付には、大きな筆談ボードとその存在を示す表示、車いす用の低いカウンターがあるとよい。
- 視覚障害者が受付や窓口へ円滑に移動できるよう、連続した点字ブロックを設置し、かつ点字ブロック上に障害物がないようにしてほしい。
- トイレは、遠くから位置がわかり、わかりやすい流しボタンや介助できるスペース、大型ベッドがあるとよい。
- 授乳室が設置されているとよい。
- 区民アンケートより、建築物で気になる点は、「エレベーターが使いづらい・ない」、「案内サインがわかりづらい・ない」、「受付や窓口等の場所がわかりづらい・ない」の割合が高い。

図 2-16　大井町駅周辺の施設（建築物）で気になる点

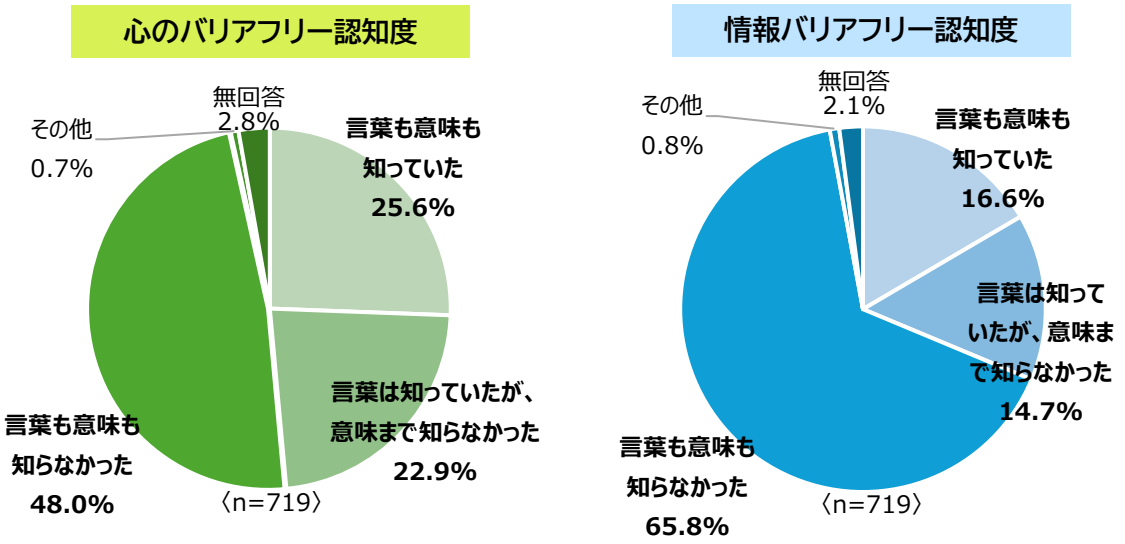


出典：大井町駅周辺地区のバリアフリーに関する区民アンケート調査

4）心のバリアフリー・情報バリアフリー等

- 区民や子ども向けに当事者理解のための教室を実施してほしい。
- 公共交通機関や各施設の従業員への当事者理解・介助に関する研修、資格の取得を推進してほしい。
- ヘルプマークやマタニティマーク、ベビーカー利用など移動に配慮が必要な人についての啓発を推進してほしい。
- 自転車や電動キックボード等の利用に関するルールの周知とマナーの向上を推進してほしい。
- 授乳室・トイレ・休憩できる場所など必要な情報が容易に見つかるように情報提供・発信を強化してほしい。
- 区民アンケート結果より「困っている人を手伝いたい気持ちはあるが行動に移せない」「どのような支援をすればよいかわからない」という人が一定数存在する。
- 区民アンケート結果より「心のバリアフリー」について言葉も意味も知っていたのは25.6%で、約7割の区民が意味を知らないと回答。（参考：東京都調査※の認知度は20.6%）
- 区民アンケート結果より「情報バリアフリー」について言葉も意味も知っていたのは16.6%で、約8割の区民が意味を知らないと回答。

図 2-17　心のバリアフリー・情報バリアフリーの認知度



出典：大井町駅周辺地区のバリアフリーに関する区民アンケート調査

※ 東京都が令和 7 年 11 月に公表した調査：令和 7 年度 第 2 回インターネット都政モニターアンケート結果「東京における都市計画道路の整備」と「心のバリアフリー」